

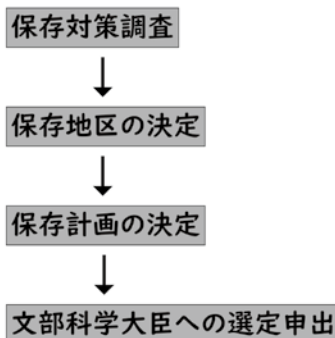
第2回 保存対策調査について

市では、平成30年と令和2年の3か年にわたり、奈良女子大学の藤田研究室と共同で御所まちの保存対策調査を行いました。

この調査は、伝統的な建物や町並みの歴史的・地域的な特徴の解明を目的としています。また、文化財として保存するために課題を整理し、具体的な方針を示すためのものでもあり、この調査が伝建制度導入に向けた第一歩となります。

重要伝統的建造物群保存地区の選定

選定までの流れ



調査の内容は、都市史調査、建築史調査、景観調査の大きく3つに分けられます。1つ目の都市史調査では、御所まちの町並みがどのように成立し、形成されてきたかを、古文書や絵図・地籍図などの歴史資料を用いて調査し、御所まちがもつ歴史的特性を解明しました。

御所まち調査の成果 ～景観の歴史と町家～

講演会

《とき》12月12日(日)
13時～16時 (開場：12時30分)

《ところ》文化ホール
アザレアホール1階 (御所市13)

◆講師
奈良女子大学 教授 藤田 盟めいじさん
京都工芸繊維大学 准教授 登谷 伸宏のぶひろさん

◆申込期間 11月1日(月)～12月9日(木)

◆申込方法 はがきまたはファックスで、「御所まち講演会参加申込」と住所、氏名、電話番号を明記のうえ、下記へ申し込んでください。市ホームページからも申し込みできます。

◆申込先・問い合わせ
〒639-2277 御所市室102
御所市文化財課
☎60-1608 ☎62-9872

🌐 <http://www.city.gose.nara.jp/3237.html>

入場
無料

先着
100人



2つ目の建築史調査は、江戸時代から昭和初期までの伝統的な建物と思われる物件で、所有者から同意をいただいた42件を調査対象としました。調査は、建物の実測や所有者への聞き取りなどによって行われ、それぞれの建築年代や建築の経緯を明らかにし、御所まちの建物の文化財的な価値を評価しました。

3つ目の景観調査は、建造物の外観や庭園、樹木、河川、石造物などの御所まちの景観を構成する要素の把握を目的としました。御所まちでは、背割下水と呼ばれる水路や、そこに積まれた石積、灯籠などの石造物を主な対象として調査しました。

次号からは、詳細な調査成果について紹介します。

また、12月12日には、調査を担当した藤田盟さんと登谷伸宏さんを講師に招いて講演会を実施し、調査成果を報告します。

この機会に、御所市の誇る貴重な町並みの価値について、あらためて見つめ直してみませんか。